

# やはば

議会だより

179  
2012.1.13

感謝の気持ちを胸に  
(矢巾町成人式)



## 12月議会で決めたこと 指定管理者14施設8業者を指定・・・2

一般質問 施策を問う  
どう進める再生可能エネルギー 一般質問9議員・・・4

まちの話題  
おめでとう新成人・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13

議会からのお知らせ  
常任委員会管外研修報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14

# 指定管理者14施設8業者を指定 文化会館舞台照明改修工事8694万円

## 各議案の採決状況

### 平成23年第5回臨時会（10月）

議案番号	提出議案名	議員名	齊藤正範	藤原由巳	村松信一	山崎道夫	川村農夫	小川文子	谷上哲	廣田光男	秋篠忠夫	若生健勝	昆秀一	村松輝夫	藤原梅昭	川村よし子	米倉清志	高橋七郎	長谷川和男	採決結果	
議案第81号	平成23年度矢中町一般会計補正予算（第5号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第82号	災害弔慰金等支給審査会の委員の任命及び平成23年東北地方太平洋沖地震及び津波に係る災害弔慰金等支給審査会の運営に関する事務の委託の協議		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第83号	矢中中学校グラウンド整備工事請負契約の締結		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

### 平成23年第6回臨時会（11月）

議案第84号	矢中中学校プール棟建設工事請負契約の締結		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
--------	----------------------	--	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

### 平成23年第4回定例会（12月）

議案第85号	矢中町税条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第86号	一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正		○	○	反対	○	反対	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第87号	矢中町企業立地奨励条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第88号	矢中町国民保養センター設置条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第89号	矢中町手数料条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第90号	矢中町国民保養センター、矢中町介護予防拠点施設高齢者活動センター、矢中町屋内ゲートボール場及び矢中町屋外ゲートボール場に係る指定管理者の指定等		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長代理
議案第91号	矢中町立煙山児童館、矢中町立徳田児童館及び矢中町立不動児童館に係る指定管理者の指定等		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第92号	矢中町立矢中東児童館に係る指定管理者の指定等		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第93号	矢中斎苑に係る指定管理者の指定等		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第94号	矢中町農村環境改善センターに係る指定管理者の指定等		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第95号	矢中地区農業構造改善センターに係る指定管理者の指定等		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第96号	南昌グリーンハイツ及び矢中町営キャンプ場に係る指定管理者の指定等		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第97号	矢中町文化会館に係る指定管理者の指定等		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第98号	平成23年度矢中町一般会計補正予算（第6号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第99号	平成23年度矢中町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第100号	平成23年度矢中町下水道事業特別会計補正予算（第2号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第101号	平成23年度矢中町農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第102号	平成23年度矢中町矢幅駅周辺土地区画整理事業特別会計補正予算（第2号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第103号	平成23年度矢中町下水道事業会計補正予算（第1号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第104号	矢中町文化会館舞台照明設備改修その2工事請負契約の締結		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
発議案第7号	30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充、教育予算拡充を求める意見書の提出		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
発議案第8号	福島原発事故による放射能汚染防止対策を求める意見書の提出		反対	反対	反対	○	反対	○	反対	反対	反対	○	○	○	○	○	○	○	○	○	否決

注：藤原議長は採決に加わらない。

除斥：地方自治法第117条の規定により、議長及び議員は自己の業務等で直接利害関係のある事件については、その議事に参与することができないため、議場から退席して採決に加わらなかった。

12月定例会は13日から16日までの会期で開催され、発議案2議案、条例改正5議案、指定管理者の指定8議案、補正予算6議案、契約1議案を審議し、21議案を可決、1議案を否決しました。

補正予算は一般会計と特別会計、水道事業会計で計上され、一般会計補正予算は除雪事業4253万円の増、保育委託事業2065万円の増など2億7299万円余を追加し、総額109億6639万円余となりました。

一般質問は9人が登壇（4～12ページに掲載）し、再生可能エネルギーの推進など25項目について考えをいただきました。

主な内容は次のとおりです。

### 指定管理者の指定

#### 主な施設と業者

- ▽国民保養センター  
矢中観光開発株式会社
- ▽煙山・徳田・不動児童館  
矢中町社会福祉協議会
- ▽矢中東児童館  
NPO法人矢中ゆりかご
- ▽矢中斎苑（火葬場）  
株式会社JAシンセラ
- ▽農村環境改善センター  
岩手中央農業協同組合
- ▽農業構造改善センター  
土橋自治会
- ▽南昌グリーンハイツ  
グリーンハイツの会
- ▽文化会館（田園ホール）  
東北協立・寿広グループ
- ▽文化会館（田園ホール）  
舞台照明設備改修工事  
8694万円



文化会館（田園ホール）

### 契約

### 全員賛成

### 採択

### 意見書

改正義務教育標準法が成立したことから、35人以下学級の着実な実行を求めるとともに次の点を要望する。

① 30人以下の少人数学級を推進すること。

② 義務教育費国庫負担制度の堅持並びに、国負担割合を2分の1に還元すること。

③ 教育予算の充実のため、地方交付税を含む国の予算拡充。

### みなさんからの請願

30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充、教育予算拡充を求める請願

岩手県教職員組合盛岡紫波支部  
支部長 種市明生



やがみ さとし  
谷上 哲 議員

# 自治公民館にAEDを

## 高価なため現状では困難



秋祭りでのAED講習会

**質問** 自治公民館は、広範な年齢層が多種多様な活動を行う場である。万一予期しない事態が発生した場合を想定し、AEDを設置するべきではないか。

**答弁** 現在、AEDを設置し

# 高い公共施設使用料

## 適切な金額と認識



あしおい けんしょう  
芦生 健勝 議員



総合体育館で練習する高校生

**質問** ①田園ホール・総合体育館・総合グラウンドなど当町の施設は、周辺市町村に比べ使用料が高いという声を聞くが、施設使用料算出の根拠と、町外の同様な施設の料金と比較した場合どうなのか。

②近隣市町村と結んでいる施設利用協定の内容は。  
③本町には公式競技ができる施設がない。  
子どもたちが全国レベルの競技を身近に見ることができれば、競技のレベルアップやスポーツ人口の増加につながると思うが、公式競技のできる施設をつくる考えはないか。

**答弁** ①使用料については社会情勢の変化や維持管理費の増加等で金額を改定している。  
近隣市町村との比較は、規模・内容等で異なるため、難しい。  
②平成11年から紫波町と協定を結んでいる。  
対象となる施設は本町の田園ホール、紫波町の総合体育館・運動公園等である。その施設を利用する場合は、お互いに同じ料金で使用できる。  
③屋内競技は総合体育館で大半の種目に対応できるが、屋外競技については対応できる施設はない。  
紫波町との協定を活用する

## 西部観光施設の水洗化

### 来年度より 順次実施

**質問** 西部地区には観光施設・体育施設のほか、南昌山・赤林山等があり自然に恵まれている。  
多くの人たちに快く利用してもらうためにも、トイレの整備が重要と考える。  
マレットゴルフ場・キャンプ場・総合グラウンドは水洗化されていないが、現状と今後の整備計画は。

**答弁** 矢巾温泉郷の駐車場トイレは水洗化になっている。  
他の施設は平成24年度から南昌グリーンハイツ駐車場、矢巾町営キャンプ場、マレットゴルフ場の附設トイレを順次水洗化していく。

とともに、次期第七次総合計画に話題提供していく。

## 教育振興運動で健全育成

### まなびフェスト やはばの活用

**質問** 平成19年から県が推進している「いわて型コミュニケーション・スクール構想」について、町内の実践状況と今後の取り組みを伺う。

**答弁** 本町は、全教職員参加の学校経営づくりや、まなびフェストややはばの活用により、基礎学力の向上と基礎生活習慣の定着を図ってきた。

## 船場跡に遺跡標識を

### 関係機関と協議し検討

**質問** 先祖の礎と先人の努力を忘れないため、また歴史的な歩みを後世に伝えるためにも、北上川の交通遺跡である土橋・徳田・高田船場跡に、標識を設置してはどうか。

**答弁** かつて北上川は渡し船が往来し、日常の生活を支えていたが、いつしか廃止され忘れさられようとしている。このような歴史を後世に伝えていくことは有意義なことであり、今後、北上川を管理している関係機関と協議し、可能であるか検討していく。

一般質問 施策を問う

一般質問 施策を問う



こん しゅういち  
昆 秀一 議員

# 障がい者スポーツの支援強化

## 活躍を期待し支援を行う



障がい者スポーツ(ポッチャ競技)

**質問** 障がい者スポーツの活動は周りの理解も少なく活動がしづらい。まずは実態を把握するなどして、支援強化を図るべきと思うが考えは。

**答弁** 障がい者スポーツの把握は、総合体育館や町内体育

## 特別支援教育の充実を重要な課題として認識

**質問** 平成19年に学校教育法に位置づけられた、障がいのある子どもを支援する特別支援教育は、本町の各校においても取り組みは進んでいる。保護者の心配事などへの対応、その他これまでの経過と問題点はないのか。

**答弁** 心配事は各学校に相談していただき、共に適切な方策を考えていきたい。特別支援教育は学校教育の重要な課題としている。

## 子ども議会開催を児童・生徒会活動が実践の場

**質問** 子どもたちが議員の立場で町長に提案や質問するなど、授業の中で議会を開催してはどうか。

**答弁** 各小中学校には児童・生徒会があり、その活動の中で民主主義の基本となる議会のシステムを理解し、実践させる場としてきた。子ども議会の開催は考えていない。

### その他の質問

◇図書室の活性化について

# どう進める再生可能エネルギー

## 本町に適したものを推進



やまざき みちお  
山崎 道夫 議員



風力発電機(遠野市)

**質問** 岩手県は再生可能エネルギーを2020年度までに2010年度比で、風力発電8・5倍、太陽光発電4倍とし、県内消費電力に占める割合を35%にするという目標値を定めた。以下伺う。  
①県の取り組みに対し、本町の基本方針は。  
②エコタウン実現のシンボルとして、役場庁舎屋上に太陽光発電パネルを設置してはどうか。

**答弁** ①矢巾町新エネルギービジョン策定委員会を開催し、平成24年度に目標数値を示し、太陽光発電システムをはじめ、本町に適したものを推進していきたい。  
②多額のコストがかかることから困難と考えている。  
③国・県の補助金の動向を見て検討する。LED照明についても省エネの観点から併せて検討していく。  
④現在のところは現状の上限額で対応する。普及キャンペーンは工夫を凝らし取り組む。

## 避難所の備えは 備蓄の充実を図る

**質問** 東日本大震災は多くの教訓を残したが、災害備蓄について伺う。  
①避難所に防災無線や食料・飲料水・毛布は整っているか。  
②学校施設に自家発電装置や物資備蓄、防災無線を。備蓄倉庫の設置等、避難所生活に必要な諸機能の整備の現状と今後の計画は。

**答弁** ①避難所には防災無線はないが、役場公用車14台には防災無線が搭載されている。食料の備蓄はないが供給できる体制にあり、飲料水は給水車と6リットの給水袋1000個、毛布は防災コミュニケーションセンターに500枚ある。  
②備蓄能力は防災倉庫にまだ余力がある。自家発電装置は今後検討したい。また地域防災計画を見直し、備蓄の充実を図っていく。



さいとう まさのり  
齊藤 正範 議員

# 農業ビジョンの具体化を

## 意向を見極め取り組む



先進的な産直施設(江刺ふるさと市場)

**質問** 本町の農業ビジョンについて伺う。

①農家の現状は、認定農業者・組織とも耕地が入り乱れ移動時間や作付け品種の面などから効率が悪いが、その対策はあるのか。  
②どのくらいの農家と組織が

## 徳丹城史跡の保存は 観光資源 として活用

**質問** 徳丹城史跡の保存と地域の活性化を今後どのように行うのか。

農業に携わっていただけるのか。新規就農者が農業経営を目指すことは可能か。  
③6次産業化や農商工の連携の取り組み状況は。また、有利販売の手助けをする考えは。

### 答弁

①話し合いの中で地域中心となる経営体への農地集積などの取り組みを行う。  
②本年11月末では131経営体を認定。新規就農者についても同様に指標を基に検討がなされる。  
③農家の意向や他の動向を見極めながら、各種企業などと連携して取り組んでいく。

### 答弁

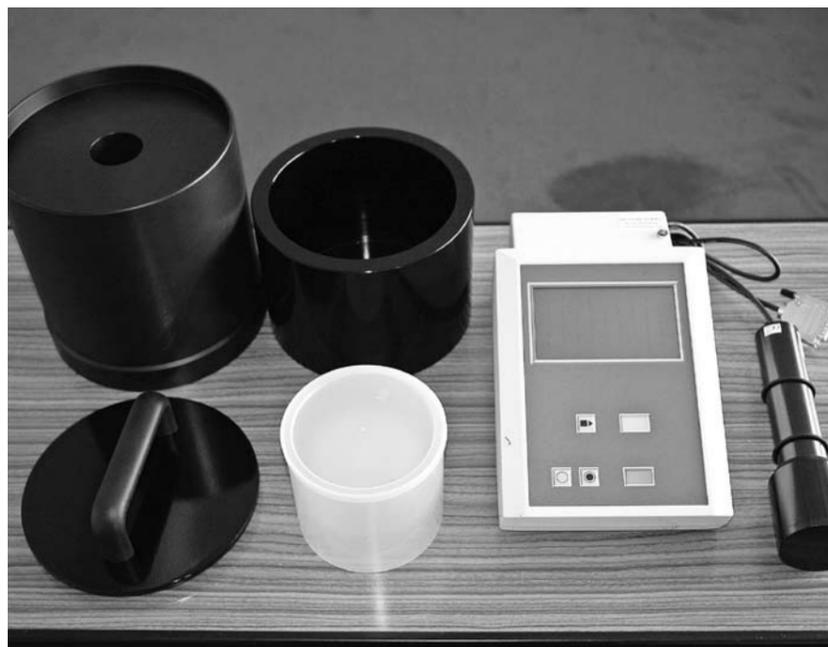
①国道4号西側の調査箇所はまだあるのか、あるとすればどれだけの年数を要し、どのような整備をもって目的達成とするのか。  
②国道4号東側の史跡用地は雑草が多く害虫被害も出ているが、今後の保全の方法は。  
③徳丹城造営1200年に関するような関連事業で活性化を図っていくのか。

# 子どもの内部被ばく対策

## 放射能成分測定器を購入予定



かわむら よし子 議員



岩手中央農協の放射性物質測定装置

**質問** 未来ある子どもたちの被ばくを可能な限り避けるため、以下伺う。  
①町の学校給食食材の放射性セシウム濃度の確認はどのようにしているのか。  
②給食用食材の測定を行えるよう放射能成分測定器を購入

### 答弁

①町内産農産物は9月に納入業者が、県内産は県が調査し、放射性物質は検出されていないことを確認している。  
②購入を検討している。  
③県の調査結果を周知し、町独自の調査は考えていない。  
④子どもには理科等で教育する予定であるが、住民には特に周知していない。

## 子どもの医療費 無料化を 将来を 見据えて検討

**質問** 子どもの医療費は無料にするべきと考えるが、費用

等について伺う。  
①3歳から6歳までの窓口負担を無料化するには、どの程度の経費が必要か。  
②3歳から小学校卒業までの場合はどうか。  
③現行制度の一部負担のまま小学校卒業までの場合はどうか。  
④近隣の町村と比較して、医療費助成制度の見直しが必要ではないか。

### 答弁

①給付額のみで2414万円ほどになる。  
②7573万円ほどになる。  
③5257万円ほどになる。  
④平成22年度に所得制限を撤廃して対象者の拡大を図っており、今後どこまで対象年齢を引き上げできるか将来を見据えて検討する。

### その他の質問

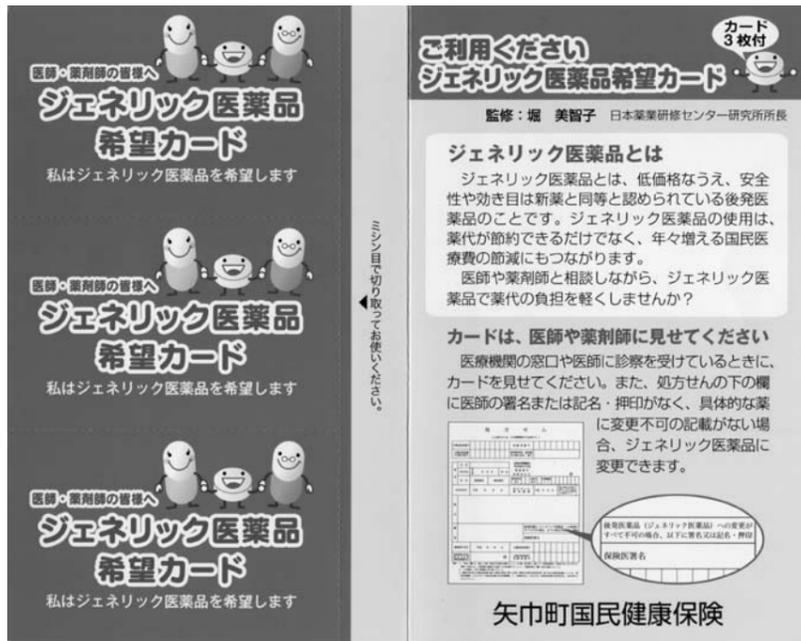
◇介護保険料と介護福祉サービスの充実について



おがわ ふみこ 議員

# ジェネリック医薬品の推進を

## 希望カード配布し普及中



ジェネリック医薬品希望カード

**質問** 国保税を下げる取り組みについて伺う。

①国保税が高い要因と、病気の状況は。

②ジェネリック医薬品を推進する考えは。

③国保会計に一般会計から法定外繰り入れをするべきでは。

**質問** 国保税を下げる取り組みについて伺う。

**答弁** 過去に実施した際の価格水準を下回っており、実施は考えていない。

配布状況は、NPOから石油ファンヒーターを41世帯に

**その他の質問**

◇住宅リフォーム制度の拡充について

# 駅前地区の街づくりは

## 商工会と連携し取り組む



たかはし しちろう 議員



にぎわいのある街づくりを(矢幅駅東口)

**質問** 矢幅駅前地区土地区画整理事業完成後の街づくりについて伺う。

①町は商工会とどのように連携して賑わいのある街づくりプランを考えているか。

②町農産物を使用したB級グルメ品をつくる考えはないか。

**質問** 矢幅駅前地区土地区画整理事業完成後の街づくりについて伺う。

**答弁** ①商業集積形成事業を立ち上げ、商工会と連携し具体的に商店街の実現化に取り組む。②集落営農組織と産直協議会に提起し、商工団体と連携した取り組みを検討していく。

②ドクターヘリは小型機で風圧・騒音とも低く、運航時間は8時30分から17時までである。ヘリポートは附属病院西側に設置され、植栽等で騒音・防音対策が配慮される。

③今年度末に市街化区域編入となるよう推進中。宅地造成は複数の民間企業が行う予定。

**質問** 平成29年度開業予定の医大附属病院による地区周辺への影響はないか伺う。

①矢巾東小学校への日照・日影・視線の影響は。

②隣接のドクターヘリの騒音・防音対策は。

③関連事業の藤沢・中村地区の市街化区域編入手続きは。

**質問** 新矢巾中プールの水を利用

①駅前・藤沢地区に貯水槽を設置しては。

②災害時に新矢巾中プールの水を活用できるかどうか、どのように利用するのか。

**質問** 万全な対策を確認

**答弁** ①病院は敷地南側に、高い建物は中央に、低い建物はその周辺に建設予定のため、影響はない。

**質問** 災害時の水確保は

**答弁** ①貯水槽は規模が小さく効果が限定的なため考えていない。②浄化装置を使用し、飲料水として利用する。

**質問** 価格水準を注視

**答弁** ①高齢化の進行と医療費の増加が要因に挙げられる。病気は金額の多い順に消化器系、循環器系、精神・行動の障害、新生物などである。②国保加入者全員にチラシとジェネリック医薬品希望カードを配布し普及に努めている。③法定外繰り入れについては考えていない。

**質問** 各種ワクチンの接種補助

**答弁** ①ロタウイルスは子どもに感染すると脳炎を発症するなど大変危険であり、予防接種の補助を考えてはどうか。②現在実施しているヒブワクチンと子宮頸がんワクチン接種補助の今後の取り組みは。

# おめでとう新成人

平成23年度矢巾町成人式が平成24年1月8日に田園ホールで行われました。新成人は339人で、<sup>ひつじ</sup>未年と<sup>さる</sup>申年（平成3～4年早生まれ）のみなさんです。



## 築川ダム水力発電活用は

### 水道用水の利水に影響なし



ふじわら うめあき  
藤原 梅昭 議員



築川ダム完成予想図(岩手県築川ダム建設事務所提供)

一般質問 施策を問う

**質問** 岩手県知事は11月の定例会見において「築川ダムの水力発電活用を再検討する」と踏み込んだ姿勢を示した。本町としての考えを伺う。

**答弁** 本町の築川ダムにおけるかわりには、水道用水として

での利水参加のみである。今後具体的に水力発電という新たな事業があった場合でも、本町の利水事業に対し特段の影響がない限り、なんら拒むものではない。

## 震災の対応状況は

### 被災地支援は 新年度も継続

**質問** 9月定例会の答弁以後、本町の震災対応状況について伺う。

- ①最新の被災地支援及び被災者の受け入れ状況は。
- ②県の大規模太陽光発電所の調査候補地として和味地区が入っているが、支援策等は。
- ③現在の住民情報データのバックアップ体制は不十分と思われるが、今後の対応は。
- ④災害時における関係組織との連携状況はどのようになっているか。
- ⑤電力不足対応としての本庁

舎の節電効果、並びに今冬における節電対応策はあるか。  
⑥放射能汚染被害の農畜産物やシイタケ栽培農家に対する対応状況は。

**答弁**

- ①大槌町に職員1人派遣中でさらに新年度も予定している。
- ②設置候補地に挙げられたら必要に応じ支援する。
- ③様々な方式を、経費等も考慮して検討する。
- ④自衛隊は災害派遣の基準に基づき、消防・警察は矢巾町地域防災計画の大綱に基づき連携を図っている。
- ⑤7～9月の節電効果は、対前年度比で電気料金15%減、使用量18%減で、引き続き使用電力の抑制に努める。
- ⑥畜産被害は関係機関と連携し賠償請求を行っている。シイタケは情報発信できる検査体制確立のため、放射能成分測定器の購入を検討する。

まちの話題

# 管外研修報告

総務常任委員会 10月31日～11月6日

## リサイクル日本一を標榜

島根県松江市

島根県松江市は、平成23年3月にごみ処理施設「エコクリン松江」を新しく稼働したが、3年前から「ごみ減量貯金箱」を作り、毎月のごみ減量分をお金に換算して貯金し、この貯金を市民や事業所の環境保全事業に対し、一件10万円を限度に100%還



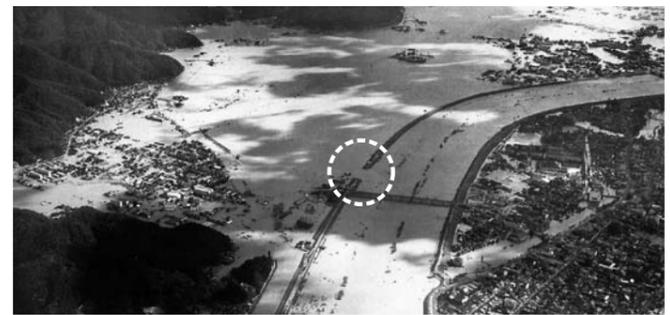
エコクリン松江を視察する議員

元事業を行っていた。最近では、5000トのごみが減量となり、500万円が貯金できたことにより、環境の美化運動などに有効活用されていた。また、発電を行い中国電力に売電していたが、一般家庭の消費電力に換算すると1万600世帯分に相当し、年間で1億2000万円にもなるということであった。

ごみの分別やリサイクルの推進は、小中学校・大学生への啓発活動や「詳細な資源とごみの出し方」ガイドブックの活用、ごみ減量貯金箱還元金交付事業により、市民総参加によるリサイクル日本一の意識の高揚など、学ぶべき点が多くあった。

## 災害文化の伝承で防災

兵庫県豊岡市



堤防が決壊した円山川

その経験を基に地域防災計画の見直し、情報収集・伝達のあり方、洪水ハザードマップの作成、避難所の見直しや、水防訓練の実施、防災関係研修会・シンポジウムの開催、防災行政無線の整備、地域防災・減災力の向上、災害文化の伝承活動など他に類を見ないほど緻密な取り組みが行われていた。

こうした取り組みにより市職員の災害対応能力が高まり、自主防災組織の強化育成が図られている。

同時に住民の意識や判断能力も高まり、結果として地域の力が向上した。

これらにより、みんなの力で命と暮らしを守る体制が築かれている。

防災力・減災力の向上を図る上から参考にすべき点が多い研修であった。

兵庫県豊岡市は、平成16年の台風23号による円山川の堤防決壊によりほぼ全域が同時に被災する広域災害が発生し、逃げ遅れた住民の救出に長時間を要した厳しい経験をもっている。

# 常任委員会

産業建設常任委員会 11月7～10日

## 地場農産物を活かした6次産業化

沖縄県読谷村

沖縄県読谷村では、農漁業と商工の推進のため担当係長1人を配置し、地元農水産物を原料とした商品開発と販売に取り組んでいる。

生芋のままでは本土に出荷できない紅芋の消費に限界を感じていたところ、商工会が中心となり紅芋を使用した料理コンテストで「紅いもタルト」が誕生した。行政が地元

の小さな洋菓子店と一緒に製造販売に取り組んだ商品で、洋菓子店は従業員400人、年商42億円の会社に成長した。紅芋生産者は安定した収入の確保ができ、さらに紅芋の消費拡大につなげた。

モズクは大量の在庫を抱え苦慮していたが、給食でモズクを使った丼モノに人気があることに注目し、漁協・村・商工会・沖縄ハム・コープおきなわがタイアップして「モ



紅いもタルトの製造ライン

その他の視察先  
沖縄県那覇市 牧志公設市場

教育民生常任委員会 10月25～27日

## ジェネリックによる国保財政改善

広島県廿日市市

増加する国保医療費削減の取り組みの一環として、ジェネリック(後発)医薬品の普及に向けた広島県廿日市市の取り組みについて調査研究した。

同市の国保会計は、年々増加する医療費で基金が激減し、突発的な事態への対応が困難な状況になったことから、「ジェネリック医薬品差額通知事業」を開始した。これはレセプトを分析し、国保加入者の一部を対象に先発医薬品から後発医薬品に切り替えた場合の差額を知らせる通知書を発送する事業である。

後発医薬品は先発医薬品よりも3～7割ほど安く、市保健課は「慢性疾患を抱える患者の負担も大幅に減らすことができる」としている。

市は医療費の削減効果を年間2400万円と見込んでおり、効果額を別な健康増進事業に振り向けることなどで、今後さらに大きな効果が期待できるといっている。



医療費抑制策について学ぶ議員

事業の取り組みには庁内関係課の連携と、医師会関係者との協議も必要である。今後の本町の取り組みにおいて参考になる視察であった。

その他の視察先  
大阪府堺市 社会福祉法人悠人会「ペルタウン」(矢幅駅西口に計画されている医療福祉複合ビルのモデル施設)



手際よく調理する佐々木さん親子  
(盛岡ガス株式会社提供)



## ウィズガス全国親子クッキングコンテスト東北 地区大会で優勝し、2月の全国大会へ出場する

はなえ たくみ  
佐々木華英さん・匠くん (南矢幅3区)

やっぱり美味しいね

家のごはん

12月18日に仙台で開催された第5回ウィズガス全国親子クッキングコンテスト東北地区大会へ、岩手県代表として昨年に引き続き出場してきました。

この大会は「わが家のおいしいごはん」をテーマに、小学生の親子ペアで食材費2千円程度、4人分を60分以内で調理するという内容です。

できるだけ町産・県産の食材を取り入れたいと考え、メニューの作成から食材の調達、作業の分担など親子で何度も話し合い、練習を重ねて大会へ臨みました。

当日は慣れないキッチンに緊張してミスを連発する私。その私とは対象的に息子は落ち着いて作業をこなしていきます。私のフォローもしてくれて本当に助けられました。

一つの目標に向かって親子で時間を共有することができたことは、とても良い経験になりました。

親子コミュニケーションも審査の重要なポイントになるため、こういう点を評価していただいた結果、東北地区大会で優勝することができたのだと思っています。

色々なことがあった年です。東北各県の代表の方々も様々な思いを胸に大会に出場されていました。

全国大会では岩手の、さらには東北の元気な姿と、おいしい食材を全国のみなさんへアピールできるよう、感謝の気持ちを込めて料理を作りたいと思っています。

## あ と が き

昨年、流行語大賞を受賞した「なでしこジャパン」の活躍で、勇気をもらえたのは私だけではなかったと思う。目的達成のために最後まで全力をつくす姿勢は見習いたいものだ。

議会だよりの編集メンバーも、親しめる紙面づくりを目指し毎号研鑽している。2回の広報担当者研修で学んだいろいろな点を活かし、さらに読みやすい議会だよりの編集に努めるよう決意を新たにしている。

平成24年が平穏な一年であるよう願う。

編集委員

齊藤 正範

発行・編集責任者

議長 藤原 義一

編集委員

委員長 山崎 道夫

副委員長 小川 文子

委員 齊藤 正範

委員 昆 秀一

委員 藤原 梅昭